

『海運経済研究』査読論文（日本語）執筆要項

日本海運経済学会編集委員会

1. 完全原稿として提出して下さい。
2. 原則として、「現代かなづかい」に従って下さい。
3. 原稿は横書きとします。執筆に当っては、マイクロソフト・ワードを利用してください。本文の文字はプロポーショナルフォントを使用せず、MS明朝・10ポイントとしてください。英文での表題および氏名・所属も記載してください。
4. 原稿の分量は、本文、英文サマリー、表・図、脚注、参考文献等のすべてを含み10ページ以内とします。1ページあたり43字×43行のフォーマットです。分量が守られていない場合、受け付けないことがありますので注意してください。
5. 節・項等の書き方
 - I ………
 - 1 ………
 - (1) ………
 - 1) ………
6. 表・図および数式の記載方法

表・図のタイトルは上側につけてください。

 - a) 表1 ………, 表2 ………, 図1 ………, 図2 ………, のように通し番号をつけてください。
 - b) 表および図の註の入れ方 (MS明朝, 9ポイント)
 - 例 (出所) ………
 - (備考) 1 ………
 - 2 ………
 - c) 数式の通し番号は左側につけて下さい。

例 3 $TEP_t = C_0 + C_1 TSN_t + C_2 (TFS_t - TSP_t) / TSP_t$
7. 脚注の書き方
 - a) 脚注はワードの機能を利用し、文末脚注とせず、ページ下の脚注とし、MS明朝, 9ポイントとしてください。
 - b) 通し番号をつける。 (例) ………である¹⁾。
 - c) 脚注中の文献等の表示方法

和書, 和雑誌, 新聞は『 』, 和文論文は「 」で示す。洋書および洋雑誌名はイタリックで示し, 欧文論文には " " を付す。引用のページは和書の場合, 「ページ」とし「頁」を使わない。洋書 (例えば英語文献) の場合は p. (単数), pp. (複数) で示す。

注記の例

欧文文献 Sletmo, G.K. and Williams, E.W., *Liner Conferences in the Container Age*, Macmillan, 1981.

〃 論文 Davies, J.E., "Competition, Contestability and the Liner Shipping Industry", *Journal of Transport Economics and Policy*, Vol.20, No.3, Sep. 1986.

和文文献 著者名『書名』, 出版社名, 出版年。

〃 論文 著者名「論文名」, 『掲載雑誌名』, 巻・号, 出版年。
8. 数字・句読点
 - a) 数字は1桁の場合は全角文字を用いる。2桁以上は半角文字を用いる。
 - b) 句読点は全角文字を用いる。読点は、カンマ (,) を用いる。

以上

★ 原稿送付先

編集委員会宛 (editor@jsslse.jp) にメールで送信して下さい。